



平成26年12月25日 第4巻(第6号)

発行：東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

Mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

もくじ

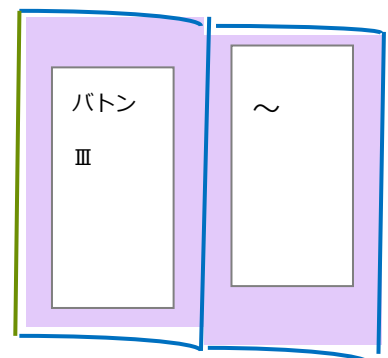
1. 現地活動報告 協力員
2. 「日本カーシェアリング協会」を紹介
3. 災害支援チームからのお知らせ
4. 災害支援ニュース発行のお知らせ
5. あとがき

「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅢ」
を発行することとなりました。

2015年2月の発行に向けて

準備中です。

しばらくお待ちください！！



「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ」 発売中！！

「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ」 発売中！！

詳細は“3. 災害支援チームからのお知らせ”をご参照ください。

1. 現地活動報告

協力員 秋本 みゆき氏

医療法人協和会千里中央病院
(大阪府)

活動期間：2014/10/9～10/11

今回で3回目になります。行く度にいろいろな経験をさせていただきました。

前回よりもより支援体制が明確になっていたように思いました。ご自宅に訪問し、お話を聞くことができました。若い時の話や、災害時の時の話。よくお話してくださったなと思います。

家から出て、いろんな会に参加してもらうことにより地域との関わりや、気持の共有をすることの大切さを実感しました。

夜は支援者が集まる会議にも参加させていただき、グループワークなどを通して支援者の考え方などお聞きしました。

また、復興住宅について教えていただきました。市役所や、関係者により、新しい住宅で

新しい暮らしをそれぞれが関わりのもてるよういろいろな工夫をされていたことが印象的でした。

現地の方々には本当にお世話になりました。お忙しい中、ありがとうございました。

メッセージ

行かれる時期により、それぞれの変化があります。現地での経験や人々との関わりで、大切なことに気付かされます。

☆☆

協力員 片岡 智子氏

(京都府)

活動期間：2014/11/17～11/22

ボランティアという立場でしたが、コミュニ

ティソーシャルワークの現場実習のような形で、現地職員の方の活動に同行させて頂きました。被害を受けた地域を周り、実際にその被害の大きさを肌で感じるだけでなく、建

設中の復興住宅の見学や他職種連携会議等への参加を通じて、新しく変わろうと動いている石巻の今を見ることが出来ました。その中で、住み慣れた地から離れる事を余儀なくされ、中には肉親や地域との繋がりを絶たれ、それでも新しい生活を始めなければならなくなった被災者の方々。その方達に寄り添い、より良い生活を営むために、ひとつひとつ課題を解決しようと奮闘されているワーカーの姿は印象的でした。新しいコミュニティが作られていく中で、ソーシャルワークの必要性、重要性はますます増しているように思います。私自身ワーカーとしてのこれまでの活動を振り返る機会ともなり、ほんとうに貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございます

いました。今後もより多くの方が、この活動に参加されることを願っています。

メッセージ

震災から数年経過し、復興が進む中で、被災地ではソーシャルワークの可能性がより大きくなっています。ぜひ、被災地の今を見るだけでなく、活動を通じて自身のソーシャルワークを振り返る機会にもしていただけたらと思います。

☆☆

2. 「日本カーシェアリング協会」を紹介

支える支援、



車をシェアリングする支援

今回の石巻で活動している団体の紹介は、「一般社団法人 日本カーシェアリング協会」の活動です。東日本大震災において多くの車が流出し、人々の生活に必要な移動手段が失われました。そして、経済的な事情などにより新たに車を購入することが困難な方々のために『車をシェアする』ことを軸にコミュニティ支援を行っています。

たしかに、カーシェアリングというシステムは知っているけれどレンタカーとの違いやシェアすることが石巻で行う役割ってなんだろうって思いますよね。



上記のようにアイドルマークを付けて活躍しています。

ここで活動の内容を、抜粋して紹介します！

車を失われた方々へ全国から善意で提供いただいた車をお届けし、ご近所さん達とカーシェアリング（車の共同利用）をしていただくサポートを行っています。2012年8月現在、石巻市内を中心に約60台の車が活用されています。私達のカーシェアリングの特徴は、車をお届けした後の維持管理は利用者の皆さん自身で行っていただいている事です。『車をシェアする』と一言で言っても、始める時も維持継続する時も、色々な課題があります。私達は、利用者の皆さんとそれぞれの課題に丁寧に向き合いながら『車を気軽に共同で使える社会づくり』を行っております。石巻がモデル都市となり、そこから新しい未来が広がっていく事をめざし、日々活動しています。

復興を進めていくなかで、人々が生活するための手段である「車」を軸にして、コミュニケーションが豊かになるような仕組みを支援しているんですね。私たちの地域でも、このようなかわりができたらいいですね。

そして、石巻現地もこの事業にお世話になっています！！車を1台お借りして様々なエリアに支援に行く際に本当に、役に立っております。

ほんとうに感謝しております。石巻にいらしたら、このマークをみたら思い出してくださいね。
文責 とみなが



3. 災害支援チームからのお知らせ

【1. 協力員募集】

現 地

現在、1日にあたり上限2から3名で募集しております。

現地までの旅費・交通費は自己負担をお願い致します。

活動日程につきましては下記のようにお願い致します。

期 間： 平日3日以上、

受入日： 期間を満たす曜日 (土、日、祝日は活動致しません。)

但し、上記以外であれば支援活動が可能な場合は現地担当までご相談ください。

※ 出発2日前までには(到着時刻等を含めて)は必ず現地担当にご連絡ください。

今後、活動に参加される方でその年度初回参加時には、簡単な資料を郵送致します。

ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

事 務 所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1～2ヶ月に1回でも構いません。

ご協力お願い致します。

【2. 災害支援チーム会議開催のお知らせ】

12月23日(火) 17:00～19:00 於：協会会議室

【3. 書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』と

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』の

販売を行っています！

発災から 2011 年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バトンⅠ』に、2011 年 10 月から 2012 年 12 月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅡ』にまとめました。

尚、売り上げの全額を皆様からの寄付として、本活動の資金にあてさせていただきます。



※ご注文は注文用紙で承ります。

(注文用紙はホームページからダウンロードできます)

バトンⅠ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

バトンⅡ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=47

【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんが VTR にまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

4. 災害支援ニュース 次回発行のお知らせ

発行予定 1月下旬予定

5. あとがき

災害支援チーム事務局から

担当 西田

1. ローズガーデン訪問

11月のある朝、NHKのラジオから雄勝でローズガーデンを建設途中の徳光さんの声が流れてきた。夏前ローズガーデン行った時、徳光さんは福岡に出張していらしてご不在だったので今度こそ徳光さんにお目にかかりたいと思い、12月10日雄勝のローズガーデンに行った。ローズガーデンは以前にもお知らせしたが、津波で流されてしまったご実家を徳光さんご夫妻が誰でもが手伝うことができ、楽しむことが出来る雄勝の庭として復興させているところである。石巻でもかなり知られており、当協会が行っている家族グループに参加しているA君は、若者サポートステーションの一員として庭の整備に力を貸している。その日は曇っていて寒い日だった。ローズガーデンにはどなたもいらっしゃらなくて、冷え冷えとしていた。裏手に置いてあった手押し車の中の泥交じりの水がしっかりと凍っ

ていた。これから咲こうとしていた赤いバラの蕾が霜にやられたのかしぼんでいた。ラベンダーと思われるハーブもすっかり枯れていたが、人参の葉に良く似た鮮やかな緑の葉がところどころに固まって芽吹いている。それは寒さに強いと見えこれから成長を遂げていく感じであった。沢山の雄勝硯の薄い石片が庭の仕切りの淵にずらりと並んでいて、その一枚一枚に全国の学校や地域・友人グループの名前が書かれ一言メッセージが添えてある。当協会からの一言もぜひ残したい。その後雄勝総合支所跡の硯石など販売しているお店をのぞき、阿部公房の世界を髣髴させる川沿いを走り、知る人ぞ知るお蕎麦屋さんに行ったが、そこも水曜日は定休日であった。残念！

2. カーシェアリング仲間

今回、「[一般社団法人 日本カーシェアリング協会](#)」を紹介させていただきました。現在、当協会もカーシェアリングの仲間にさせていただいており、現地事務所の面々が日々利用させて頂いていることを報告いたします。

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 26 年 12 月 25 日 第 4 巻 (第 6 号)
作成 日本医療社会福祉協会
災害支援チーム事務局